

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

合同会社ハレノヒ

②事業者情報

名称：障害福祉サービス事業所 フロス岩槻	種別：共同生活援助
代表者氏名：施設長 渡辺 航平	定員(利用人数)：10 名
所在地：〒 339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉285-1	TEL 048-748-5428

③評価実施期間

令和 7 年 12 月 1 日 (契約日) ~ 令和 8 年 2 月 24 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

【職員会議の場で活発な意見交換や各種研修が行われている】

フロス会議と呼ばれる職員会議が毎月開催されており、常勤、非常勤を問わず参加できる仕組みとなっている。会議体は年々ブラッシュアップされており、年間研修計画に基づいた研修が開催され、管理者が自ら講師を務めるなど、支援の質の向上に寄与している。会議の際には必ず各職員からの業務報告を行い、短期入所の稼働率についてや業務の進捗の確認、振返りから課題抽出を行っている。

【外部研修参加や育成制度が充実しつつある】

前年度の第3者評価受審後より、職場内の研修参加や外部研修への参加がさらに活発化し、所属職員が強度行動障害支援者養成研修等の受講を行うなど、専門性を高める取り組みを行っている。事業所や法人としても受講を推奨し、様々なサポートを提供している。また、新人職員へのOJT(現場での新人教育)に関しても、体系化されており、実践を通してブラッシュアップされている。

【感染症対策や内服薬の管理が徹底されている】

感染症に関するBCP等も作成されており、日々の感染対策が十分に行われている。また、薬は事務所で管理し、配薬管理を徹底して行っている。内服に関する学習会を施設内で行い、常勤非常勤問わず参加可能としているため、1年度を通して服薬に関する事故やミスは0件を達成している。

【地域との交流についてはさらなる活性化が望まれる】

地域との交流については、特に制限や交流を阻むものは無いが、立地条件や感染症対策の観点からも積極的な取り組みには至っていない。地域に根差した事業所となるようさらなる活性化が望まれており、今後は近隣の事業所等との交流が計画、検討されている。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回もフロス岩槻を客観的に調査していただき、『運営の質』や『利用者への関わり方』を見つめ直す良い機会となりました。

地域との連携や関わり等至らない点が明確になり、更なる改善にスタッフ一同取り組みたいと思います。

意思決定支援に対するアプローチも改善の余地があり最適な方法を考え、ご利用者様がさらに快適に生活出来るよう努力いたします。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり